

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 12 月 13 日 (2007.12.13)

【公開番号】特開 2006-122306 (P2006-122306A)
 【公開日】平成 18 年 5 月 18 日 (2006.5.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-019
 【出願番号】特願 2004-313723 (P2004-313723)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

A 6 3 F 5/04 5 1 2 K

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前面が開放された筐体と、
 遊技媒体を貯留する貯留部と、
 絵柄を変動する絵柄表示装置を枠体に搭載して構成した表示ユニットと、
 前記筐体の前面を覆う前面扉と、
 を備え、
 前記筐体内の下部に前記貯留部を、該貯留部の上方に前記表示ユニットを配設し、
 前記前面扉に、前記絵柄表示装置の絵柄を視認するための表示窓を設け、
 前記貯留部の上方に位置する前記筐体の背面に、遊技媒体を該筐体外部から該貯留部へ
 供給する供給管を挿通する挿通孔を形成可能とする挿通孔形成部を備えた遊技機において

、
 前記表示ユニットの下部の高さ位置が、前記挿通孔形成部と前後方向に重なり合う位置
 関係となるように設定し、

前記挿通孔形成部と前後方向に重なり合う前記枠体の背面下部を、当該枠体の最背面より
 前方の位置となるように形成したことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記挿通孔形成部と前後方向に重なり合う前記枠体の背面下部を、当該挿通孔形成部の
上部から下部にかけて徐々に当該挿通孔形成部から前方へ遠ざかるように形成したことを
特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記挿通孔形成部の周縁部を、前記貯留部の上方に位置する前記筐体の背面に、複数の
切欠部と、隣り合う当該切欠部の間の切断部とで形成し、

前記切断部を切断することで、前記挿通孔を形成することを特徴とする請求項 1 又は 2
に記載の遊技機。